

ちいきのわだい

仙北市のできごとをおとどけ

9月7日~9日
角館地区

角館祭りのやま行事 曳山18台が町内を練り歩く

地域繁栄や家族の無病息災、商売繁盛などを祈願する角館のお祭りが、晴天のもと9月7日から9日まで行われました。

各丁内から武者人形や歌舞伎人形をのせた18台の曳山が7日に神明社へ参拝し、8日は、佐竹北家当主へ上覧。薬師堂へは8日、9日に参拝に向かいます。曳山は飾山囃子を奏で、艶やかな手踊りを披露し、町内を練り歩きます。



す。曳山同士が道で出会うと、通行の優先権をめぐり交渉を繰り返す、これが決裂すると実力で通ることになり、曳山同士が激突する山ぶっつけがはじまります。この時祭りは最高潮を迎え、その勇壮さに詰めかけた大勢の観光客も歓声を上げて見入っていました。

明け方まで若者のかけ声とお囃子の音が響き、町中が祭り一色にまつまれました。



9月8日
角館地区

今年度の受賞者が決定 おやま囃子コンクール

9月8日、佐竹北家上覧時に、各町内の山車が一堂に会し、おやま囃子コンクールが開催されました。

厳正な審査の結果、次の方々が各賞を受賞されました。(敬称略)

《囃子部門》最優秀賞(角館のお祭り保存会長賞) 西部若者 秋月会 代表 藤原勇悦 優秀賞(角館町観光協会会長賞) 中央通り 奏雅扇舞会 代表 藤井哲也 優秀賞(仙北市商工会会長賞) 横町若者 角館山本組 代表 山本善英

《手踊り部門》最優秀賞(角館のお祭り保存会長賞) 本町通り 高橋キヌ子 社中 代表 高橋キヌ 優秀賞(角館町観光協会会長賞) 上新町若者 千葉キヨ 社中 代表 千葉キヨ 優秀賞(仙北市商工会会長賞) 横町若者 渡部幸子 社中 代表 渡部幸子



9日にお祭り実行委員会本部前で実施した表彰式。

8月17日~19日
高知県

全国中学校剣道大会 生保内中学校女子剣道部が全国ベスト16進出

全国中学校剣道大会で、生保内中学校女子剣道部がベスト16入りを果たしました。監督である西根義明先生から大会レポートを寄せて頂きました。全国の強豪と競い合った、生保内中学校女子剣道部の活躍を紹介します。全国ベスト16おめでとうございます。



秋田県勢として、4年ぶりのベスト16入りとなった生保内中学校女子剣道部の皆さんと西根義明監督。

右から西根義明監督、小野凌華さん(先鋒:3年)、黒沢純南さん(大将:3年)、田口悠奈さん(中堅:3年)、草野明さん(次鋒:2年)、黒沢日向さん(副将:1年)、首木彩さん(補員:1年)。

全国中学校剣道大会が8月17日から19日まで高知県民体育館で開催され、秋田県代表として、女子団体戦に生保内中学校剣道部が出場しました。全国大会では県大会を勝ち抜いた48校が集まりました。予選リーグでは、三重県代表の嬉野中、徳島県代表の那賀川中と対戦し、2-1、2-0と勝利をおさめ、決勝トーナメントに進出しました。決勝トーナメント1回戦では九州チャンピオンである福岡県代表の玄洋中と対戦しました。前年度全中個人王者から一本を奪うなどの活躍もありましたが0-2で残念ながら敗退しました。今大会はそのまま玄洋中が大差をつけて優勝しましたので惜しい試合となりました。

結果として、秋田県勢として4年ぶりの16強となり、仙北市立生保内中学校の名を全国に広められたと思います。応援ありがとうございました。

掲載が遅れ、申し訳ありませんでした。

9月3日
市営田沢湖球場

仙北市老人クラブ連合会第9回健康づくり親睦交流GG大会 グラウンドゴルフで楽しく交流

9月3日、市営田沢湖球場で第9回健康づくり親睦交流グラウンドゴルフ大会が開催され、前回女性の部で優勝した羽根川ヒサさん(生保内中央クラブ)の選手宣誓のあと、151人の会員の皆さんが、晴天のもと4コース32ホールで自慢の腕を競いました。結果は次のとおりです。(敬称略)

▼男子優勝 門脇正(角館町) 太平クラブ
▼女子優勝 三浦貴美子(田沢湖) 向生保内朝日クラブ



大会終了後に入賞した会員の皆さんがそろって記念撮影。グラウンドゴルフを楽しみながら交流も深めた、笑顔のコマ。

9月11日~15日
角館武道館

早稲田大学合気道部夏季合宿開催 海外からの参加者も激しい稽古に汗



角館町出身、合気道競技創始者 富木謙治師範(1900~1979)創設の早稲田大学合気道部の夏季合宿が、9月11日から15日まで角館武道館で行われました。

今回の合宿には2017年に当市で開催される国際合気道競技大会(NPO法人日本合気道協会主催)の視察も兼ねて、ブルガリア・ロシアからも選手・指導者の皆さんが参加しました。合宿期間中、熱気こもった稽古が行われ、参加者たちの気合いが武道館に響いていました。



角館総合病院管理棟

統合庁舎の整備については、市民サービスの向上を図り、庁舎の老朽化に伴う安全性の問題や分庁舎方式のデメリット等を解消するために、仙北市発足時からその調査検討を行ってきました。

市では、これまで議会との協議をはじめ、市民会議での検討や角館庁舎移転に関する市民説明会の開催などにより、たくさんのご意見、ご提言をいただきました。

この度、こうしたご意見を踏まえ、統合庁舎の位置やその整備手法等に関する具体的な方針のほか、各庁舎の今後の方向性を示した「庁舎整備基本構想(素案)」を取りまとめましたので、その概要をお知らせします。

また、今後市民の皆様への説明と広くご意見をお伺いするための市民説明会を開催するとともに、パブリックコメント(意見公募)を実施することとしています。



西木庁舎



田沢湖庁舎



中町庁舎



角館庁舎

■ 各庁舎の状況

区分	建築年	建築年数	耐震診断結果に基づく判断
田沢湖庁舎	昭和 47 年	42 年	補強を行う
角館庁舎	昭和 36 年	53 年	解体が望ましい
中町庁舎	昭和 46 年	43 年	解体が望ましい
西木庁舎	昭和 50 年	39 年	耐震性がある

問合せ/企画政策課
☎(43) 1112

庁舎整備基本構想

統合庁舎整備の考え方

(素案)

庁舎の現状

庁舎の整備には、施設の老朽化も大きく関わっています。中でも、角館庁舎は、老朽化が著しく、施設の安全性が損なわれている状況です。

平成25年8月に庁舎等の耐震診断調査を実施したところ、西木庁舎以外の庁舎のI-S値(構造耐震指標)は、市が安全性の目安として設定した0.7を下回り、耐震補強が必要であるとの判定結果となりました。こうしたことから、統合庁舎の整備のみならず、全ての庁舎の今後の方向性も早急に決めなければならない時期にきています。

9月5日
大仙市

第8回大仙・仙北・美郷畜産共進会 肉用牛(牛肉)部門で秋田県知事賞

大仙市神岡・ささくら公園で第8回大仙・仙北・美郷畜産共進会が開催され、肉用牛部門で、秋田県知事賞を受賞のほか、7部門中3部門で優等賞を受賞など、輝かしい成績を収めました。特に第5類で優等賞を取ること、その地区での改良が進んでいることを表しています。各部門で健闘しましたが、総合では惜しくも角館が準優勝となりました。(旧市町村単位)

来年度は秋田県畜産共進会も開催されることから、さらなる改良が期待されます。



第1部第5類で優等賞を受賞した皆さん。



第1部第1類で優等賞のえりざべす号と千葉さん。



県知事賞受賞のおう272号と相馬さん。

成績(敬称略) 第1部肉用牛《秋田県知事賞》(におう272号 相馬勲 角館町) 第1類(育成雌)《優等賞》(えりざべす号 千葉俊悦 田沢湖) 第2類(若雌)《優等賞1席》(におう272号 相馬勲 角館町) 《1等賞1席》(第44くろやま号 黒山春雄 角館町) 第3類(若雌)《1等賞1席》(ゆりたかよし号 高橋芳弘 角館町) 《1等賞2席》(はくごう294号 下田忠浩 角館町) 第4類(成雌)《1等賞1席》(みずさわ179号 小原洋一 角館町) 《2等賞2席》(そのだ76号 菅原孝作 角館町) 第5類(成雌牛群・4頭1群)《優等賞》(そのだ76号 菅原孝作 角館町) (はくごう272号 下田忠浩 角館町) (第22うるしばら号 佐藤操 西木町) (はるにしき257号 田口春美 西木町) 《2等賞》(第41きたざくら号 大石徹治 田沢湖) (ひさひら号 千葉俊悦 田沢湖) (とりゆり号 小原洋一 田沢湖) (みずさわ179号 小原洋一 田沢湖) 第6類(母娘群)《1等賞》(はるにしき283号・はるにしき322号 田口春美 西木町) 第7類(義平福)《1等賞》(ないん154号 伊藤裕明 田沢湖) 第3部 肥育牛《1等賞1席》(春錦288号 伊藤則夫 西木町) 《1等賞2席》(古堀田34号 伊藤則夫 西木町) 《2等賞4席》(美津文号 伊藤則夫 西木町) 第4部 家苑の部《2等賞2席》(きらら号 佐藤乃三 田沢湖)

9月13日
角館交流センター

仙北市障がい者ふれあい芸術文化発表会 歌や踊り、作品展示と多彩な催し

仙北市障がい者ふれあい芸術文化発表会が9月13日に角館交流センターで行われました。



楽しいダンスに、大きな拍手が送られました。

第1部は島筒英夫さん(全盲のピアニスト)の「ピアノに感謝、人に感謝」と題したトーク&ピアノライブが行われ、すばらしいピアノ演奏とお話しを会場の皆さんに聞かせてくれました。続いて行われた第2部のステージ発表では歌やダンス、合奏などが発表され、観客から大きな拍手が出演者に送られました。会場には絵画や手芸、木工作品や、活動紹介パネルが展示され、多くの来場者で賑わう一日となりました。

9月9日
仙北市

白寿のお祝い おめでとうございます

9月9日、田口隆一さんが白寿を迎えられました。市からお祝いと花束が贈呈されました。



9月2日~
仙北市

オモテナシ3兄弟 ゆるキャラグラプリに出場中

ゆるキャラの祭典「ゆるキャラグランプリ」が今年も開催され、仙北市からオモテナシ3兄弟が出場中。仙北市の知名度アップを目指してがんばっています。投票は10月20日まで。皆さんの応援よろしく願います。



ファインダー(長男)

イヤスダー(長女)

応援よろしく
お願いします

ヌクインダー(末っ子)

パソコンやスマートフォンから1日1回、毎日投票することができます。「ゆるキャラグランプリ2014」で検索してください。

訂正とお詫び
前号3ページ「全県小学生バドミントン大会 記事前、お名前の間違いがありました。次のおり訂正し、お詫びいたします。
【誤】戸村綾乃さん
【正】戸村彩乃さん

庁舎整備計画

統合庁舎の位置 [市立角館総合病院敷地 市有地：17,697㎡]
 統合庁舎の整備方法 [現病院管理棟を活用した増改築]

事業費
 本庁舎：角館総合病院管理棟 総合支所：田沢湖庁舎 西木庁舎
 【総事業費：27億1,200万円 実質市負担額：9億7,300万円】
 ※合併特例事業債等を充当することによって、償還金の70%が交付税措置されます。

本庁舎：角館総合病院管理棟(増改築) 6,390㎡ 22億6,490万円
 管理棟既存面積 3,390㎡ 増築面積 3,000㎡
 総合支所：田沢湖庁舎(耐震補強) 1億4,714万円
 西木庁舎(耐震補強必要なし)
 付帯事業：角館総合病院(解体) 2億4,014万円 ※外来棟、入院棟外
 角館庁舎・西側庁舎(解体) 5,121万円
 中町庁舎(解体) 876万円

財源計画

財源	金額	構成比 (%)
合併特例事業債	23億6,000万円	87.0
過疎対策事業債	6,000万円	2.2
国庫支出金	4,400万円	1.6
一般財源	2億4,800万円	9.2
合計	27億1,200万円	100.0

主な財源は、合併特例事業債、過疎対策事業債等、財政的に有利な地方債等を充て、市の財政負担を最小限に抑えます。

田沢湖庁舎
 総合的なスポーツ振興の拠点

田沢湖地区は、秋田県東側の玄関口として、田沢湖、秋田駒ヶ岳など大自然や素晴らしい景観に恵まれ、温泉、スポーツ、レクリエーション施設も多く、自然と共生した安心で住みよい地域づくりを進めてきました。

「山と湖と温泉」を活かし、観光と結びつけたスポーツ振興・温泉と健康を核としたスポーツ振興室(仮称)を配置し、総合的なスポーツ振興の拠点として、地域づくりを進めます。

西木庁舎
 産業や学習・交流の拠点

西木地区は、美しく、素朴な農山村風景が広がる地域で、グリーンツーリズムの先進地として、農山村地域と都市との交流による地域づくりを進めてきました。

西木庁舎には、生涯学習や農山村産業の振興と体験を重点に、中央公民館や農山村体験・交流推進室(仮称)を配置し、農林業と自然環境を活かした産業や学習・交流の拠点とし、地域づくりを進めます。

整備スケジュール(案)

- 【平成27年度】(基本設計、実施設計)
- 【平成28年度】(病院棟外解体工事)
- 【平成29～30年度】(建築工事)
- 【平成30年度】(外構工事)
- 【平成31年度】(移転・移設関係、角館庁舎外解体工事)

① 整備方法について
 統合庁舎の整備に当たっては、市民の利便性を高めること、市の財政負担を最小限に抑えることが重視すべき事項として考え、市が所有する土地・建物を有効に活用する整備方法が最良であると考えました。

② 統合庁舎の候補地、施設の検討
 統合庁舎の候補地の決定には、事業費を極力抑制すること、交通事情等、市民の利便性に配慮することが最優先事項であると考えます。検討に当たっては、特に「利便性と機能性」、「財政負担の抑制」、「防災機能」、「まちづくり」に重点を置きながら、これまでの各方面からの多様なご意見、ご提言の集約と、概算事業費や敷地面積等の積算、集計を含めた多角的な比較の結果、角館総合病院管理棟を活用した整備方法が最良であると判断しました。

総合支所・出張所の役割、機能

田沢湖庁舎、西木庁舎を総合支所とし、出張所は、現行どおり、神代、田沢、松木内、上松木内の4地域に設置します。単に窓口業務等だけではなく、様々な市民サポート体制機能の強化を図ります。また、郵便局等での諸証明の発行やコンビニ収納等、時代のニーズに対応した市民サービスの実現を目指します。これに加え、3庁舎を巡回する無料シャトルバスを運行し、来庁者の交通アクセスの向上を図ります。

特に、田沢湖庁舎と西木庁舎は、それぞれの地域の特長を活かして、庁舎を活用することにより、地域の活性化を狙います。これを實現するため、地域に適した部署の配置や、地域活性化に資する事業を進めていきます。

角館庁舎・西側庁舎および中町庁舎

角館庁舎・西側庁舎と中町庁舎については、耐震補強工事を実施した場合、庁舎機能が著しく低下するなどの理由から、解体することが適切であると判断しました。

また、角館庁舎および西側庁舎解体後の「火除けの復元」については、角館の歴史的背景や観光面機能等を多面的に考慮の上、文化財関係団体等のご意見を伺いながら進めていきます。

中町庁舎敷地は中心市街地で、観光客等多くの人が賑わうエリアであることから、利活用が具体化するまでは、主に観光振興へ寄与するために活用します。

統合庁舎整備の考え方

現在の庁舎、施設部署設置状況

- 西木庁舎(配置部署) 西木地域センター、福祉保健部、農林部、建設部、農業委員会事務局
- 角館庁舎(配置部署) 角館地域センター、市民生活部、教育委員会
- 田沢湖庁舎(配置部署) 総務部、田沢湖地域センター、会計課、議会・監査委員・選挙管理委員会、各事務局
- 中町庁舎(配置部署) 観光商工部(観光課、商工課)
- 企業局(配置部署) 企業局(業務課、工務課)
- 健康管理センター(配置部署) 福祉保健部(保健課)

③ 業務効率化の課題
 ・ 職員の打合せ、会議等の移動に多くの時間が費やされ、迅速な市民サービスを提供できない。
 ・ 車両の維持管理費等、移動手段に要する経費を、抑制することができない。

④ 庁舎機能の課題
 ・ 高齢者、体の不自由な方、子ども連れの方などに対応したユニバーサルデザインになっていない。(車椅子用トイレ、スロープ、エレベーター等)

統合庁舎の必要性

- ・ 財政規模を一段と縮小せざるを得ない中で、行政サービスを維持していくには、行財政改革をさらに強力に押し進めなければなりません。今後、職員の削減がさらに進むことにより、市民サービスへの影響を抑えるためには、各庁舎に職員を分散配置するのではなく、一箇所に結集し、部局横断的な取り組みを進める体制の整備が必要とされます。
- ・ 庁舎を統合することによって、部署間の迅速な情報伝達と情報共有、時間的なロスがない指揮命令系統の一元化等、多くの課題が解決され、災害、緊急時等における市民の安全確保や市民サービスの向上、並びに事務の効率化が図られます。

庁舎の規模

- ① 庁舎建築面積 (2,000㎡)
 庁舎延べ床面積 6,000㎡
 建築面積 (3階建÷3) 2,000㎡
- ② 付帯施設 (15,100㎡)
 公用車庫 (70台) 1,600㎡
 来客者駐車場 (100台) 2,500㎡
 職員駐車場 (200台) 5,000㎡
 堆雪帯 1,000㎡
 その他付帯敷地 5,000㎡ (緑地帯、構内道路等)
- ③ 敷地面積 (①+②) 約 17,100㎡

「分庁舎方式」の問題点

町村合併協議の際に、全ての部署、職員を一つの庁舎に収容しきれないことから現在の分庁舎方式にしたところですが、分庁舎方式には、市民サービスの向上を妨げる様々な問題があります。

- ① 市民サービスの課題
 ・ 用件をどこの庁舎、部署で取り扱っているのか、窓口がわかりづらい。
 ・ 複数の部署に渡る用事の場合、一つの庁舎で済ませることができない。
- ② 防災拠点機能の課題
 ・ 災害や緊急時に関係部署、職員が一体となった情報収集、分析、判断ができない。
 ・ 迅速に適切な指示、命令ができない。
- ③ 業務効率化の課題
 ・ 職員の打合せ、会議等の移動に多くの時間が費やされ、迅速な市民サービスを提供できない。
 ・ 車両の維持管理費等、移動手段に要する経費を、抑制することができない。
- ④ 庁舎機能の課題
 ・ 高齢者、体の不自由な方、子ども連れの方などに対応したユニバーサルデザインになっていない。(車椅子用トイレ、スロープ、エレベーター等)

庁舎のあるべき姿

庁舎は、市民のための施設としての観点に立った庁舎の役割と、優先すべき機能は次のとおりです。

- 1 「市民が利用しやすい庁舎」
 ・ 総合案内所、わかりやすい案内表示の設置
 ・ 来庁者の庁舎内移動負担軽減サービス
 ・ 来庁者を目的部署に導く誘導レーンの設置
 ・ ユニバーサルデザインの導入
 ・ 庁舎間を巡回する無料シャトルバスの運行
- 2 「市民が集い、親しまれる庁舎」
 ・ 市民団体等のクラブハウスとしての活用
 ・ 市民が自由に使えるスペースの提供
 ・ 行政情報提供機能の設置
 ・ 観光案内、歴史文化伝承機能の設置
- 3 「防災機能拠点としての庁舎」
 ・ 防災情報システムや情報通信設備の整備
 ・ 市民の緊急避難スペースの確保
 ・ 非常用電源や通信障害の発生を防ぐ機能
 ・ 防災関係用品の備蓄倉庫の設置
- 4 「行政需要の変化に対応できる庁舎」
 ・ 可動式間仕切りの設置
 ・ 収納スペースの一元化
 ・ 効率的なファイリングシステムの構築
- 5 「環境や景観に配慮した庁舎」
 ・ 太陽光発電等の再生可能エネルギーの活用
 ・ LED、自然採光、自然通風等、省エネ設備の導入

基本指標

統合庁舎として必要な基準面積を算定するために左表の指標を設定し、「総務省旧地方債同意等基準」を参考に算定します。

例 事務室Ⅱ職員数×基準面積

項目	平成31年度	備考
人口	25,000人	平成32年人口 25,091人
議員数	19人	仙北市議会議員の定数を定める条例による
職員数	200人	本庁舎収容職員数(設定値)

※平成32年人口「人口問題研究所」推計